

『スパイクブロック』施工要領書

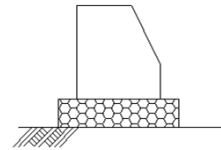


1 掘削、基面整正

設計図に示されているとおりの掘削及び基面整正を行う。

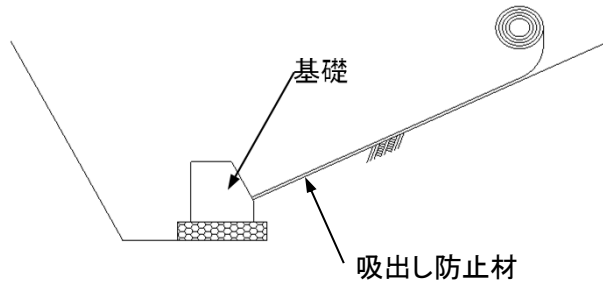
2 基礎工

- ・設計図に基礎砕石がある場合、所定の厚さに敷き均し転圧する。
- ・型枠を設置し、基礎コンクリートを打設する。
または基礎ブロックを敷設する。



3 吸出し防止材

- ・設計図に従い 吸出し防止材 を敷設する。
- ・吸出し防止材はたるみの無いように敷設する。



4 製品の施工吊り上げ方法

- ・標準の他各端部製品は、下の写真、図の位置に吊りフック等を使用してワイヤーを取り付ける。
- ・Vハンガーには専用吊り金具を使用する。(NV20×50TS)

【標準】

天端側挿入筋：2点
製品中央部インサート(Vハンガー)：1点



【端部1/2】

天端側挿入筋：1点
※据付箇所までの移動時は、安全の為に下側凹部挿入筋にもワイヤーをかけ2点吊りとする。



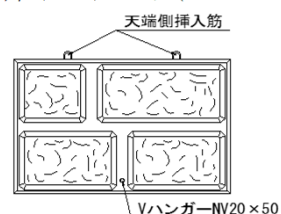
【端部1/3】

天端側挿入筋：2点



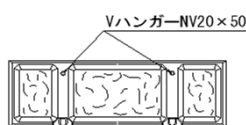
【端部2/3】

天端側挿入筋：2点
製品中央部インサート(Vハンガー)：1点



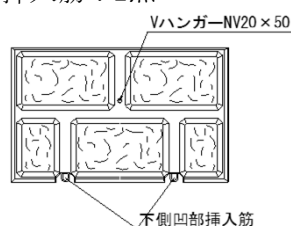
【端部凹1/3】

天端側インサート(Vハンガー)：2点



【端部凹2/3】

製品中央部インサート(Vハンガー)：1点
下側凹部挿入筋：2点



5 製品吊り込み、据付

- ・製品を吊る場合は、ワイヤーの角度を 60° 以内になる長さにし、法面の角度に合わせて製品が傾くようにチェーンブロック等を利用して前後のワイヤー長さを変えて吊る。
- ・所定の位置に高さを調整しながら据付る。



6 製品配列

- ・製品は千鳥配列とし、同じ向きとする。



※曲線箇所は、ブロック一列毎に開く施工はせず、数m毎の直線施工の間に折れ点を設ける。
この直線区間と直線区間の間に調整コンクリートを設ける。



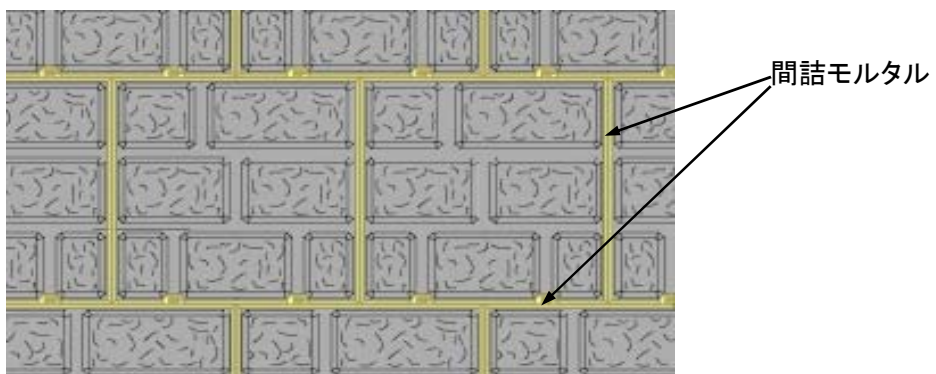
7 アンカーピン打ち込み

- ・下段の天端側の挿入筋の上に、上段の凹部の挿入筋の輪が重なるように設置される。
- ・指定のアンカーピン（ $\phi 16 \times 400\text{mm}$ ）を輪の中へ打ち込む。



6 間詰め (※止水・防草の目的の場合)

- ・ブロック同士の隙間・アンカーピン打ち込み箇所に間詰モルタルを施工する。



間詰モルタル量 (m ³ /100m ²)
0.230